



教会だより ミルトス

ミルトスは、水がなくても育つ強い木であることから不死のイメージがあり、祝福と繁栄の象徴の木とされている。

日本バプテスト教会連合
八千代キリスト教会

牧師 小林政和

八千代市大和田新田 94-77

Tel:047-450-1536・Fax:047-473-3925

Eメール: gpnng725@gmail.com

郵便振替: 00190-4-554373

今年のみ言葉「私たちすべてのために」

私たちすべてのために、ご自分の御子さえも惜しむことなく死に渡された神が、どうして、御子とともにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがあるのでしょうか。(ローマ書8章32節)

どなたでも ご自由にお入り下さい。お待ちしております。

日曜日・午前10時30分・礼拝

水曜日・午後1時30分・祈禱会

「イースターに思う」

牧師 小林 政和

「灰の水曜日」からキリスト教のレント(四旬節)が始まります。主の苦しみを覚え、40日の間、肉も酒も、人々の祝い事も一切絶つ期間になります。このような長い期間、肉を食べられないのが耐えられないと言うので、四旬節に入る前に肉を食べ、楽しんでおこうとカーニバル(謝肉祭)が始まったと言われます。リオ・デ・ジャネイロでサンバのリズムに乗って乱痴気騒ぎとなり、カーニバル・チルドレンが量産されます。これはレントへの曲解・反動でしょうか。それとも生来の生き方なのでしょう。



今年のイースター祝会でカラオケの歌が歌われました。初めて来た人は教会でも、カラオケで恋の歌を歌うのかと驚いていると思います。讃美歌・聖歌は神様を褒めたたえる歌です。一方カラオケで歌われる歌は、人間的な男女の愛が結ばれるように。または結ばれなかったことの哀しみを歌って、ままたらぬ人生を嘆く。つまるところ人間的な感情の発露です。と言ってそれは軽視すべきものではありません。そのなかの一つのフレーズがその人を勇気づけ、立ち直らせたケースは沢山あります。人間の心にフィットする大切なものです。しかしその歌には神の愛はないのです。大衆は流行歌を何度も聞いて知っている。鼻歌で歌える。讃美歌・聖歌は聞く機会、歌う回数が圧倒的に少ない。だから讃美歌等歌えないが、カラオケなら歌える。カラオケでも自分の恥ずかしさが勝ってはい歌えない。自分の殻を打ち破って、人前で歌うにはそれなりに勇気が要る。この度の祝会で皆が裸になって、歌ってくれた。歌い手は歌い了えて、「私もできた」と言う達成感を体験できて良かったと思います。カラオケにつきもののきわどい映像も無くて良かった。カラオケで歌えることがわかったら、今度は、神様の素晴らしさをたたえる歌を歌うと良いと思います。聖歌等なくても、神が支配する時の流れを歌った歌。被造物はなんと素晴らしいものかと言う歌は沢山あります。明治時代に欧米の歌を取り入れるのに、子供へ歌は讃美歌等が多かったのです。文部省は「神」と言う言葉を隠しながらそのメロディを取り入れた経緯があります。手段としてカラオケを使って歌うのも結構です。ただ歌詞の大切さを覚え、十分吟味して歌いましょう。

5月15日(木)野崎宅家庭集会

お祈り・聖歌を歌い、小林牧師の聖書メッセージ。心豊かな時間を持てました。



近隣の花木 ・小学校前の 桜並木



・空木(ウツギ)
の花: 卵の花
(5/20 撮影)
(下橋)



4月29日(火)東京地区連合会・総会とスプリングセミナー

練馬バプテスト教会において、10:45から総会。お祈りに続き、議事に入りました。

2024年度の活動決算報告、2025年度の計画案が審議され、原案通りに承認されました。引き続きその他の紹介・報告が行われました。

13:00からはスプリングセミナーで「スポーツミニストリー～地域と教会をつなげる宣教ツール」と題して、連合の宣教師・福岡庸平師の講演がありました。



5月18日(日) 小林牧師、町田金井教会25周年記念会へ

当教会の狩野久子牧師は、女性の牧師がなかった時代に、当時、国内宣教理事であった中西正夫牧師(金剛教会)の具体的な支援、力強い推奨もあって、連合として初期の頃に女性牧師として立てられました。その第一歩として画期的な事でした。それから25年の月日が経ちましたが、女性牧師として連合では大きな存在です。中西先生の説教も「私があなたの名を呼んだ」と一女性が牧師として召されることは、決して安易なことではないが、神様の召しは変わらず、見放されないとの、神様の深い愛を感じるお勧めでした。



メンバー紹介「私の姉 八木明子の洗礼式」

境幸子

幕張、特養老ホームに入居中の姉八木明子が4月25日に、歩行困難で車椅子のため、八千代台和食亭の部屋を予約して、小林牧師の指揮もとで下橋兄弟の支援を頂き、祝福された洗礼式を持つ事が出来ました。

私より4つ上の87歳に至っての姉は、受洗準備の講義を牧師より月一度15分の面会時間に、約半年受けて参りました。信仰心にはほど遠くこだわりがあり、個性派な姉ですが性格が明るく、極楽トンボの気性は、在宅介護の時の私にとっては救いの気楽さがありました。高齢で短期間、短時間15分の講義でしたので、私は講義面会の数日前に、姉にわかりやすい言葉で、1～2例をあげると、これ迄現在に至っての生活の上に自分では気付かない神の恵みに守られている事の尊さを知ってほしい事、また受洗時パンとブドウ酒を食する意味は神が人間の罪の贖いのため、十字架に付けられた苦しみと肉を表し、それらを食する事により神の愛を知り、心に安らぎを覚えるようになる、そしてこれからの余生をも安心して過ごしていけるという事を、講義毎に手紙で姉に伝達しました。受洗講義、最後の時つまり当日はリハーサルのように牧師の質疑応答に、姉は納得のうえ「ハイ」という返事の意志表示をしっかりと示しておりました。

当日の洗礼式の姉は、始めは緊張とこわばりの様子でしたが式を終えて会食と談話時、とても穏やかな笑みの中に会話を交え、祝された洗礼式でした。この度、姉の受洗に付きましては小林牧師を始め、皆様のお祈りの中に、とても祝された洗礼式を迎える事のできた喜びを感謝して、御礼申し上げます。有難うございました。



教会及び連合のスケジュール(予定)

04月09日(水) タイ・チェンマイに派遣されている福岡庸平宣教師の帰国報告
04月13日(日) 八千代キリスト教会総会
04月20日(日) イースター(復活祭)礼拝&祝会
04月25日(金) 八木明子姉のバプテスマ(洗礼)式
04月27日(日) 聖餐式、ミルトス51号発刊・発送
04月29日(火) 午前:東京地区連合総会、午後:スプリングセミナー
05月11日(日) 母の日
05月12日(月) 10:30東京地区牧師会、19:30東京地区連合委員会
05月15日(木) 龍ヶ崎(野崎宅)家庭集会
05月18日(日) 牧師が「町田金井教会設立 25 周年感謝礼拝」のお祝に赴き、
八千代キリスト教会は小林義宣兄がメッセージ
05月29日(木) イエスの昇天日
06月01日(日) ミルトス52号発刊・発送
06月08日(日) ペンテコステ(聖霊降臨日)、運営委員
06月09日(月) 東京地区連合、千葉・茨城ブロック別牧師会
06月19日(木) 横田早紀江姉を囲む祈り会

祈って下さい

- 1) 「バプテスト教会連合54教会の祈禱課題」が、み心にそって実現しますように
- 2) 横田めぐみさんはじめ拉致被害者の方々が早く家族のもとに帰れますように
- 3) ロシア軍に侵攻されているウクライナに、平和が回復しますように
- 4) イスラエルとパレスチナのハマスとの間に、停戦合意が守られますように
- 5) 上福岡教会の渋谷昌史師は、抗がん剤治療中です。健康が回復できますように
- 6) 中溝兄の母「恵津子姉」の腰痛の癒しのために
- 7) 洗礼を受けられた「八木明子」姉の信仰の成長のために
- 8) リー・バックリ兄が貧血症。早く体力が回復できますように

3分間講座 「神に試されたヨブの信仰心」

大富豪ながらもひたすら神を敬い、悪行を避けて生きてきた無垢なヨブが、たび重なる苦難を負わされた物語です。ヨブは信仰を持つ者の理想とされ、崇(あが)められている人物です。

さかんに善人を褒める神のもとへサタンが現れ、ヨブの信仰はまやかして、財産を奪い家族に災いをもたらせば、必ず神を呪うはずだと挑発します。そこで神は命だけは守ることを条件にヨブの身をサタンに預けます。すると一日にしてヨブの家畜は奪われ、さらに大風で家が倒れ息子と娘たちは命を落とします。「わたしは、母の胎から裸で出てきたのだ。また裸で戻ろう」と、ヨブはこの災難を受け入れます。するとサタンは、ヨブの全身を腫れもので苦しめます。噂を聞いてやってきた三人の友人たちはその酷さに顔をそむけ、犯した罪を悔い改めるよう再三勧めます。しかし罪の覚えなどまったくないヨブは、「神を呪い死にましょ」という妻に、「神からは幸せを頂戴しているのだから、不幸も頂こう」(ヨブ記 2:10)と語るなど、耳を貸そうとしません。しかしあまりの苦しみから、友人に「君たちは神の代わりにわたしを責めないでほしい。わたしは直接神と話をしたい」と、つい神への恨みつらみを吐き出しそうになります。そこに四人目の友人エリフが訪れます。彼は「自分に罪があるかどうかは神だけが判断されること。与えられた苦しみは罰ではなく、むしろ試練ではないか」とヨブに話します。

神はヨブの不幸の原因には触れず、神の力と知恵に目を向けるよう語りかけます。我に帰ったヨブはこれまでの自分の傲慢さを恥じ、災いもすべて神の支配のもとにあると悟り、友のためにも祈りました。やがてヨブは神からさらに大きな恵みを与えられ、病も癒え、厚い信仰心のもと幸せに余命を送ったそうです。(池田)



「ヨブ」レオン・ボノ作 制作年不詳

編集後記:新年度から2ヶ月経ちました。新入社員の皆さんは頑張っていますが、いろいろ悩み事はあるようです。その一つに電話に出るのが怖いとの事。誰から掛かってきているかわからず、対応の仕方にとまどい返答ができないので、電話に出られないそうです。固定電話は使ったことがなく、スマホだと発信者が分かるから安心して、返答ができるのですが。(下橋)